様式第3号(第12条関係)

審議会等の会議の記録

会　議　の　名　称	令和７年度　第２回伊勢崎市社会教育委員会議
開　催　日　時	令和７年８月２９日（金）午後２時００分～午後３時４５分
開　催　場　所	伊勢崎市役所東館５階第４会議室
出　席　者　氏　名	【委員】１5名　(欠席5名) 小林委員、相川委員、細野委員、髙橋委員、渡辺委員、 鈴木委員、栗原委員、常木委員、赤石委員、西村委員、 藤井委員、高畑委員、松島委員、大谷委員、丸橋委員 【事務局】３名 山片課長補佐兼社会教育係長、川田課長補佐兼社会教育係長、 黛課長補佐兼社会教育係長、渡辺主査
傍　聴　人　数	０人（公開）
会　議　の　議　題	１　開　会 ２　あいさつ ３　報告・協議及び意見交換 （１）　研修等報告 ・新任社会教育委員研修 ・少年の主張 ・公民館等「夏休みこども向け講座」 （２）本市社会教育事業について （３）意見交換 「本市における社会教育の取組や課題について」 （地域で子供を育てる社会教育の場を整理する） ４　連　絡 ・中部地区社会教育委員研究集会について ・伊勢崎市人権学習会について ・人権啓発フェスティバルinいせさきについて ５　閉　会
会議資料の内容	○　令和７年度第２回伊勢崎市社会教育委員会議（資料） ○　伊勢崎市人権学習会チラシ ○　人権啓発フェスティバルinいせさきチラシ

会議における議事の経過及び発言の要旨	１　開　会 【事務局】吊り下げ名札の配付（社会教育委員が外部研修や調査研究に出向くときに着用する。） ２　あいさつ　【栗原議長】 ３　報告・協議及び意見交換 （１）研修等報告 ○委員からの報告 ＜新任社会教育委員研修＞ 【委員】・秦野先生による相模原市の実践例が大変ためになった。講演の後のグループでの情報交換や質疑応答により理解を深めることができた。 【事務局】・講演の中で、調査・研究を難しく考えずにいろいろなことにチャレンジしてほしいと自身の調査報告をもとに社会教育委員の役割について説明していただいた。 ＜少年の主張伊勢崎市大会＞ 【委員】・６月２６日（木）あずまホールにて市内の各中学校・中等教育学校の代表者１２名によって行われた。発表のテーマの中には、LGBTQやAIをテーマにしたものがあった。 【事務局】・性の多様性については、中学生の中で関心が高いテーマの１つである。AIについては、上手な活用の仕方が求められている。 ＜公民館等「夏休みこども向け講座」＞ 【委員】・三郷公民館「親子ピザつくり教室」では、母親だけでなく、父親との参加する家族もいた。親子で取り組むことができる有意義な行事であった。館長や職員とも話をする中で、公民館は気軽に立ち寄れる場所だということをわかってもらい、子供にとっても憩いの場となってほしいと感じた。 【委員】・東地区の夏祭りでは、幼小中の各ブースで出し物が行われた。どのブースも家族連れが多く、家族で過ごす時間の確保ができた。子供たちにとっては地域の大人との交流ができた。小学生が中学生ボランティアの活動の様子を見ることを通して、小中の連携を図ることができた。あずま公民館で行われた「お菓子作り教室」やあずま図書館の「１日図書館員」では、子供たちが評価に縛られることなく、興味のあることに挑戦することができた。暑さ対策や行き帰りの送迎が必要なことが課題である。学校と地域の連携としては、公民館等の「夏休みのこども向け講座」について学校で子供たちの声をかけるとともに、連絡ツール（テトル）を活用して事業の周知を行った。 【委員】・赤堀民俗資料館の機織り体験に子供が参加し、体験をしながらボランティアの祖父母世代の方と交流ができたことがよかった。また、祭りで行うお囃子の練習に

も子供が参加し、伝統行事を同年代の子供やたくさんの地域の大人と交流しながら学べてよかった。

【事務局】・委員さんが自ら公民館に出向いたり、地域の実態について調べたりしていただいてありがたい。今後もぜひお願いしたい。

（２）本市社会教育事業について

〇事務局から、資料により放課後子供教室や公民館等で行われている「夏休みこども向け講座」の8月までの実施状況について、動画を交えながら説明。本市での取組について考える。

【委員】・ボランティア参加証明書は各公民館で出しているのか。

【事務局】・各公民館で出している。公民館で出したボランティア参加証明書は、学校で参加者に渡してもらっている。学校の協力を得て、校内で紹介していただくことで、参加者の自己肯定感を高めたり、たくさんの生徒にボランティア活動に興味をもってもらったりできると考えている。

【委員】・赤堀地区西久保町三丁目でも、赤堀まつりのボランティアに高校生２名、中学生３名が参加しており、ボランティア参加証明書を出したいと考えた。どのように出したらよいのか。

【事務局】・赤堀まつりには公民館が関わっていると思う。公民館に相談してもらうといい。公民館によっては、すでに地域から声があがって、地域行事においてもボランティア参加証明書を出す取組に協力している。
また、この参加証明書は、学校で子供たちが自分自身の学習や活動を記録しているキャリアパスポートにも記録し、振り返りができるように、校長会議でもお願いしている。社会教育委員のみなさんの声を反映した取組になっている。

【事務局】・ボランティア参加証明書だけでなく、資料のとおり公民館講座に参加した子供たち向けの記録カードのようなものがあるとどうかと考えている。

【委員】　・地域行事に参加したことを記録できるカードがあるとよいと思うのだがどうか。

【事務局】・まずは、公民館講座での取組を想定して考えた。地域行事の参加記録カード等については地域で話し合っていけるといいと思うので、社会教育委員の意見として、子供が地域行事に参加するように、地域でどのような取組をするといいのかということを公民館任せではなく、各地域で助言していただけるとありがたいと思う。

【委員】・お祭りのお囃子の練習は、本番の発表に向けて、どのくらい練習に参加したかが大事になるので、その練習期間についての記録もできるとよい。

【事務局】・委員のみなさんと地域で考えていけるといいと思う。いただいた意見は参考にさせていただく。

（３）意見交換

「本市における社会教育の取組や課題について」

	（地域で子供を育てる社会教育の場を整理する） ○４つの小グループに分かれて意見交換 ・「地域で子供を育てるための学びの場となっている行事やイベント」「その行事やイベントで子供が体験し、学べること」を付箋に記入する。 ・記入した付箋は模造紙に貼っていく。 ・付箋に記入した行事やイベントについて、地域や各団体の思いや自身が感じていることを話してもらい、意見交換を行う。 ４　連　絡 ○事務局から連絡 ・中部地区社会教育委員研究集会について ・今後の予定 ・伊勢崎市人権学習会について(チラシ) ・人権啓発フェスティバルinいせさきについて(チラシ) ５　閉　会